



1977年生まれ
香蘭女学校・早稲田大学
政治経済学部卒業
1男2女(20.19.16歳)の母 防災士
民主改革さいたま市議団
元政務調査員
2023年4月 さいたま市
浦和区より県議会議員 トップ当選

多くの方に
お越いただきました
ありがとうございました!

県政報告会&意見交換会

11月30日(日) (9:30~11:30)

浦和コミュニティセンター
第15集会室(浦和パルコ9階)

参加無料

お申し込みはこちら▶



埼玉県議会 9月定例会 TOPIC

(9月24日~10月15日)

来年度予算要望を知事へ

一般会計の補正予算は追加の公共事業約84億円の他、病床数適正化支援事業(病床を減らした医療機関に1ベッドあたり410万円を補助する事業)、中央児童相談所一時保護所建て替えにあたり判明したアスベストの除去、軟弱地盤への対策などで総額約88.4億円を可決しました。

また、八潮市における道路陥没事故のため周辺住民の方々への補償約7.8億円、下水管の全国特別重点調査で判明した緊急修繕に約55億円の流域下水道事業補正予算が可決されました。

閉会日には会派としての来年度予算要望、各種約50団体からヒアリングした予算要望、市町村からの予算要望も知事へお渡ししました。各団体の皆様からは、人手不足が深刻化している現状、特に建設や介護・医療、学校、農業等ではこのままでは今まで通りの生活は成り立たなくなるだろうという危機感を感じました。

令和8年度の予算編成にあたっては、これから社会を発展させていく成長投資と県民の生命や生活基盤を守っていくための財政支出のバランスを考慮し、県民の声に耳を傾け、より一層慎重な判断、舵取りをしていただくことを知事にお願いしました。今後益々税金の使い方に対する合意形成を民主的に進めるプロセスが求められていくと考えます。



夏の間、一ヶ月かけて様々な団体から
予算要望をヒアリングいたしました

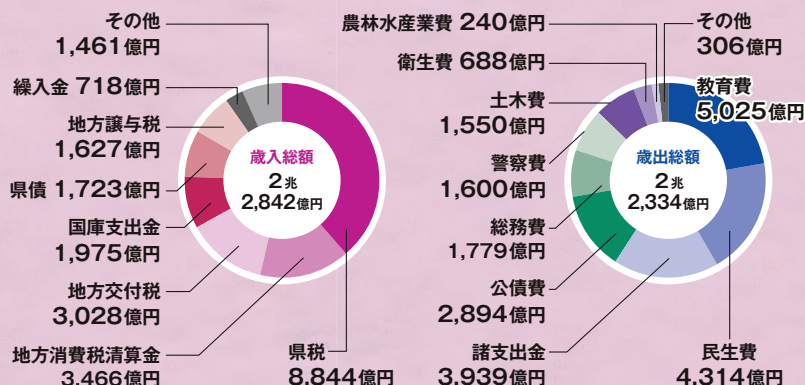


決算特別委員会

令和6年度決算に対する審査を行う決算特別委員として、税金の無駄使いはないか、施策の方向性は適切かという視点を持ち、以下のような質疑をいたしました。

決算状況

- 歳入総額:2兆2,842億3,200万(前年度比+754億円)
- 歳出総額:2兆2,333億7,100万(前年度比+666億円)
- 実質収支額:4億8,600万円の黒字



財政 県の借金はいくら? (県債について)

Q 令和6年度の起債では、緊急防災・減災事業債など交付税措置のある有利な県債の発行が多くなったようだが、6年度の通常債1,052億のうち、いくらが国から交付税措置される見込みなのか? また、臨時財政対策債も全額国から補填されるとすれば、県債残高3兆6,237億のうち県の実質的な借金はいくらなのか?

A 令和6年度の通常債1,052億のうち、将来国から措置される交付税は約268億円。
令和6年度決算までの県の実質的な借金3兆6,237億のうち、将来的な交付税措置は約2兆円と見込んでおり、県の実質的な負担額は約1兆6,000億円と推計している。